

たかす ちょう としよしつ きたの ぶんしつ
 鷹栖町図書室と北野分室

2022 1月 January

年明けは5日から開室します。2022年もよろしくお願ひいたします!

冬やすみの
 催しです!

にち	げつ	か	すい	もく	きん	ど
ちいさなおはなし会 絵本のよみかきせや かみしばいをやります。 ひにち... 6日・16日→たかす、7日・15日→きたの図書室です。 じかん... 10:30~11:00 あそびにきてくださいね!						1
2	3	4	この日から 5	たかすでおは なし会 6 10:30~	きたのでおは なし会 7 10:30~	8
9	10	11 たかすのみ開室	12	13	14	きたのでおは なし会 15 10:30~
たかすでおは なし会 16 10:30~	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28 月末整理日	29

開室時間

平日 10:00-18:00
 (たかすのみ、金曜日 19:00まで)
 土日祝 9:30-17:00

休室日

月曜日・月末整理日
 特別整理日・住民センターの休館日

利用案内

おひとり10冊まで、2週間
 かりることができます。
 (初めてかりる方は、利用カード発行の
 手続きをお願いします。)

お問い合わせは

たかす(87-2486) きたの(87-5772)
 図書室は住民センターの中にあります。

たかす

『Aoppaーズ・ゴースト』 (伊坂幸太郎/朝日新聞出版)
『石に埋もれる犬』 (桐野夏生/朝日新聞出版)

『二十一時の渋谷で キネマトグラフィカ』 (古内一系/東京創元社)

『残照の頂 山姥記・続』 (湊かなえ/幻冬舎)

『ルパンの絆』 (横関大/講談社)

『雨の島』 (吳明益/河出書房新社)

『まっくら 女抗夫からの聞き書き』 (森崎和江/岩波書店)

『100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集』 (福井県立図書館編著/講談社)

『アイヌからみた北海道150年』 (石原真衣編著/北海道大学出版会)

『コロナ時代の選挙漫遊記』 (畠山理仁/集英社)

『ウイグル大虐殺からの生還 再教育収容所地獄の2年間』 (クルバハール・ハイテワジ ロセル・モルガ)

『倉持仁の「コロナ戦記」』 (倉持仁/泉町書房) ほか

本の予約は
お電話でも
できますので、
すきがるに
お問い合わせ
ください!
(河出書房新社)

子どもの本

『よあけ』 (あべ弘士/偕成社)

『こうさぎとおちばおくりのうた』 (わたりむつこ・でくねい/くら書店)

『おさるのツォー・ツूंとうかいにでる』 (M.&H.A.レイ原作/岩波書店)

『おさるのツォー・ツूंとうひょうをする』 (M.&H.A.レイ原作/岩波書店)

『うたう鬼 きつねの橋巻の二』 (久保田香里・佐竹美保/偕成社)

『クリスマス・ピク』 (J.K.ロリング/静山社)

『アイヌ民族27の昔話 シンタラ』 (北原モコトウチシ編著・小笠原小夜/北海道新聞社)

『俳句のきた道 芭蕉・蕪村・茶』 (藤田真一/岩波書店) ほか

きたの

『あの春がゆき この夏がきて』 (乙川優三郎/徳間書店)

『夜が明けると』 (西加奈子/新潮社)

『居酒屋「服亭」の四季』 (東川篤哉/講談社)

『北緯43度のコールドケース』 (伏見美紀/講談社)

『東京ゴースト・シティ』 (バリー・エブロー 柴田元章訳/新潮社)

『コロナ後の世界』 (内田樹/文藝春秋)

『自民党失敗の本質』 (石破茂・村上誠一郎ほか/宝島社)

『本当に野党ではダメなのか? 野党が掲げる成長のための経済政策』 (及川健二編/亜紀書房)

『わたしは「ゼロ弾きのゴーン」 中村哲が本当に伝えたかったこと』 (中村哲/NHK出版)

『その農地、私が買います 高橋さん家の次女の話し』 (高橋久美子/ミツメ社) ほか

あたらしくはいった本は
この他にもいろいろ
あります!
町のHPまたは図書館で
配布しているちらしを
ごらんください。

子どもの本

『せんろはつづく にほんいっしゅう』 (鈴木まもる/金の屋社)

『チリとチリリ よるのおはなし』 (どいりかや/アリス館)

『石ころのスーフー トロコのおはなし』 (ジュテス・マリカ・リバーマン セイネフ・オザタライ/光村教育図書)

『オノロンボンガ アフリカ南部のむかしはなし』 (アルベチ・イヴ・ウケケ=リア ニコラ・トローヴ/光村教育図書)

『サボテンにハグなんてしない』 (カーター・グッドリッチ/化学同人)

『あ、しはももし、湾にすむ カ次郎ともうします』 (岩佐めぐみ・高島純/偕成社)

『クマが出た! 助けてベアドッグ クマ対策犬のすごい能力』 (太田京子/岩崎書店) ほか